

教育普及に関わる活動報告 Report on Education Programs

1) 常設展関連プログラム

当館の所蔵作品および常設展示に関連して実施されるプログラム。

■ 美術トーク

所蔵作品5～7点をじっくり鑑賞していく、ボランティア・スタッフによる一般向けギャラリートーク。開館している第1・3・5土曜日と日曜日に実施。

参加者：計1,249名(71回)

■ 建築ツアー

ル・コルビュジエ設計の本館や前庭を巡る、ボランティア・スタッフによる一般向け建築ツアー。開館している第2・4土曜日に実施(当日予約制)。

参加者：計268名(22回)

■ 平日大人向けトーク

参加者：計495名(20回)

■ 美術館でクリスマス

「10分トーク」(クリスマス・バージョン)

クリスマスやキリストに関連する作品を中心に、常設展から1点を取り上げてボランティア・スタッフが行なう10分トーク。

日時：12月11日(火)–16日(日) ①14:00–14:10 ②14:20–14:30

③14:40–14:50

参加者：計326名

「クリスマスキャロル・コンサート」

クリスマスにちなんだ歌を特集したアカペラのコンサート。

日時：12月15日(土)/16日(日) ①11:00–11:40 ②15:00–15:40

企画：平松英子(東京藝術大学准教授)

演奏：金持亜実(ソプラノ)、遠藤亜希子(アルト)、田口昌範(テノール)、関口直仁(バス)

参加者：計351名

「クリスマス缶バッジをつくろう」

おもに、クリスマスに関連のある常設作品のモチーフを使い、缶バッジを作る予約不要のプログラム。

日時：12月15日(土)/16日(日) 11:00–16:00

参加者：計878名

「セイビ・パズル」(クリスマス・バージョン)

常設作品を使ったパズルで遊ぶ予約不要のプログラム。

日時：12月15日(土)/16日(日) 11:00–16:00

参加者：計50名

■ ファン・デー 2012

さまざまなプログラムとともに国立西洋美術館を無料開放し、コレクションに親しんでもらう週末プログラム。

日時：2012年11月10日(土)/11日(日) 9:30–17:30

[常設展]

「ギャラリートーク『コレクション、この1点』」

10:00–10:10 《最後の審判》

10:20–10:30 《ソドムを去るロトとその家族》

10:40–10:50 《自画像(マリー=ガブリエル・カペ)》

12:00–12:10 《洗礼者ヨハネの首》(『手の痕跡』展会場)

14:00–14:10 《オルフェウス》(『手の痕跡』展会場)

14:30–14:40 《ポプラ並木》

14:50–15:00 《海辺に立つプルターニュの少女たち》

参加者：計379名

「ミュージアム缶バッジを手に入れよう!」

9:30–17:00

参加者：計2,813名

「びじゅつーる」

9:30–16:00(貸出は15:00まで)

利用者：計268名

「本館建築ツアー」(各回約50分、定員先着15名)

①11:30–②14:30–

参加者：計76名

「前庭コンサート」

①10:30–11:00 ②14:30–15:00

参加者：計960名

[手の痕跡展]

「彫刻の技法を見てみよう!」(各回約50分)

①11:00–大理石 ②13:00–ブロンズ ③15:00–粘土

参加者：計302名

「彫刻展セルフガイドもらえます!」

配布数：2,000枚

入館者数合計(2日間)：5,996名

2) 特別展関連プログラム

年3回開催される特別展に関連して実施される、講演会、シンポジウム、スライドトーク、ギャラリートーク、コンサートなど。

■ 講演会

[ロベール展]

4月28日(土) 14:00–15:30

「ユベール・ロベール—奇想の風景」

陳岡めぐみ(国立西洋美術館主任研究員)

参加者：89名

[ベルリン美術館展]

7月14日(土) 14:00–15:30

「オランダ絵画のパラドックス—レンブラントとフェルメールを中心に」

尾崎彰宏(東北大学大学院教授)

参加者：156名

8月25日(土) 14:00–15:30

「都市の中の美術—イタリア・ルネサンスにおける聖なる画像と肖像表現」



石澤靖典 (山形大学准教授)
参加者：128名

9月8日 (土) 14:00-15:30
「イタリア素描の魅力—その技法と目的」
高梨光正 (国立西洋美術館主任研究員)
参加者：82名

[手の痕跡展]
11月21日 (水) 13:00-14:00
「高階秀爾氏が語る 草創期の国立西洋美術館の展示風景」
高階秀爾 (大原美術館長)
参加者：78名

[ラファエロ展]
2013年3月2日 (土) 14:00-16:00
「ラファエロ—イタリアの宮廷に輝いた芸術」
クリスティーナ・アチディーニ (フィレンツェ文化財・美術館特別監督局長官) *同時通訳付き
参加者：140名

2013年3月9日 (土) 14:00-15:30
「ラファエロ作《友人のいる自画像》の新解釈」
トム・ヘンリー (ケント大学教授) *同時通訳付き
(助成：鹿島美術振興財団)
参加者：128名

[その他]
日本学術振興会外国人研究者招へい事業
ロマネスク美術学術講演会 (共催：長崎純心大学)
9月12日 (水) 14:00-15:00
「世界遺産 ボイ渓谷のロマネスク壁画」
マヌエラ・カスティニエイラス (バルセロナ自治大学教授)
*逐次通訳付き
参加者：58名

■シンポジウム
[ロベール展]
4月14日 (土) 10:00-18:00
国際シンポジウム「時の作用と美学」*同時通訳付き
高階秀爾 (大原美術館長)
小佐野重利 (東京大学教授)
ギョーム・ファルー (ルーヴル美術館キュレーター)
陳岡めぐみ (国立西洋美術館主任研究員)



三浦 篤 (東京大学教授)
阿部成樹 (中央大学教授)
参加者：85名

[その他]
2013年1月7日 (月) 13:00-17:00
「彩色文化遺産の有機物質の分析に関するシンポジウム」(筑波大学西アジア文明研究センターと共催)
ジョイ・マズレック (ゲティ保存研究所アシスタント・サイエンティスト)
高嶋美穂 (国立西洋美術館研究補佐員)
島津美子 (東京文化財研究所特別研究員)
中澤 隆 (奈良女子大学教授)
参加者：70名

■スライドトーク・ギャラリートーク
[ロベール展]
スライドトーク：陳岡めぐみ (国立西洋美術館主任研究員)
4月20日 (金)、5月11日 (金) 各日 18:00-18:40
参加者：計157名

[ベルリン美術館展]
スライドトーク：川合真木子 (東京藝術大学大学院)
6月22日 (金)、7月27日 (金)、8月10日 (金)/24日 (金)
各日 18:00-18:40
参加者：計479名

[手の痕跡展]
ギャラリートーク：大屋美那 (国立西洋美術館主任研究員)
11月16日 (金)、12月14日 (金)、2013年1月11日 (金)
各日 18:00-18:30
参加者：計102名

[ラファエロ展]
スライドトーク：西川しずか (慶應義塾大学大学院、本展覧会アシスタント)
2013年3月15日 (金)/29日 (金) 各日 18:00-18:30
参加者：251名

■レクチャー・コンサート
展覧会の作品についての解説をまじえながら行なうコンサート。
[ベルリン美術館展]
8月18日 (土)/21日 (火) 各日 14:00-15:30
演奏：前田りり子 (ルネサンス・フルート奏者)、ソフィオ・アルモニコ
レクチャー：前田りり子、高梨光正 (国立西洋美術館主任研究員)
参加者：290名

■障がい者のためのプログラム

展覧会の作品について、15分程度の概要説明のレクチャーを講堂で行なった後、参加者が自由鑑賞するプログラム。

「ベルリン美術館展特別鑑賞会」

7月14日(土) 18:00-20:00

共同実施：三菱商事株式会社(三菱社員ボランティア25名)

参加者：236名

■ファン・ウィズ・コレクション2012「彫刻の魅力を探る」

*「手の痕跡展」に関連して企画

[レクチャーと鑑賞]

11月17日(土) 14:00-16:00

「ロダン—創作の秘密」

藤原 徹(東北芸術工科大学教授)

参加者：32名

[創作体験プログラム]

11月18日(日) ①9:30-12:00 ②13:30-16:00

「鑄造体験—オリジナルトークンを作ろう」

柳原絵夢(彫刻家)

参加者：34名

11月25日(日) ①9:30-12:00 ②13:30-16:00

「3Dコピー!私の『手の痕跡』」

渡辺五大(美術家)

参加者：計29名

3) ファミリープログラム

6-9歳の子どもと同伴の大人を対象にしたファミリープログラムは、常設展示室で利用する家族向けの鑑賞用教材「びじゅつーる」の無料貸出と、コレクションの鑑賞と創作などの体験がセットになった「どようびじゅつ」があり、いずれも教育普及室とボランティア・スタッフによって運営、実施されている。

■びじゅつーる

美術館は初めて、あるいは美術のことはよく知らない、という家族を対象に作られた鑑賞用補助教材で、常設展の絵や彫刻を、いろいろな視点から楽しむための道具やゲームなどがセットになっている。

貸出日：8月9日(木)/10日(金)/11日(土)/12日(日)

時間：各日10:30-17:00(随時・受付は16:00まで)

利用者：計496名

■どようびじゅつ

常設展示室の作品鑑賞とそれに関連する創作や体験がセットになった予約制プログラム。

「セイビでハンズ」

絵や彫刻に表わされた人物のポーズや仕草、手のかたちなどに注目して作品を鑑賞した後、大人と子どもでペアになり、石膏包帯を使ってお互いの手の型を取った(内容は8回とも同じ)。

日時：4月14日(土)/28日(土)、5月12日(土)/26日(土)

各日 ①10:00-12:00 ②14:00-16:00

参加者：計109名

「アートでノリノリ♪」

線や色の使い方、顔の表現が特徴的な作品を鑑賞した後、「顔」をテーマに羊毛やボタン等をコラージュした作品を作った(内容は8回とも同じ)。

日時：9月8日(土)/22日(土)、10月13日(土)/27日(土)

各日 ①10:00-12:00 ②14:00-16:00

参加者：計117名

「アニマル・ウォッチング2013」

動物が描かれている作品を2点鑑賞してから、ヒントを頼りに絵を探し、鑑賞する「絵探しゲーム」を行なった後、発泡スチロール等を使って動物を作った(内容は4回とも同じ)。

日時：2013年3月9日(土)/23日(土)

各日 ①10:00-12:00 ②14:00-16:00

参加者：計58名

4) 学校関連プログラム

■スクール・ギャラリートーク

当館の常設展示作品について、ボランティア・スタッフが中心となって実施している予約制のプログラム。

参加者：計3,177名(115件)

未就学児童=30名(3件)、小学生=1,725名(43件)、中学生=1,015名(47件)、高校生以上=407名(22件)

■オリエンテーション

大人数の団体を対象に、講堂で行なう常設展あるいは特別展についての予約制の解説。教育普及室が実施。

参加者：計1,394名(21件)

幼稚園=27名(1件) 小学生=318名(4件)、中学生=559名(6件)、高校生以上=490名(10件)

■職場訪問

おもに、中学生による美術館の仕事に関する訪問インタビュー。教育普及室で対応。

参加者：計62名(6件)

中学生=58名(5件)、高校生以上=4名(1件)

■国立美術館アートカード・セット

独立行政法人国立美術館所蔵作品を使用した鑑賞用教材アートカードの貸し出し。

参加者：9件(57セット)

小学校=5件(43セット)、中学校=2件(7セット)、高校=1件(4セット)、大学=1件(3セット)

■先生のための鑑賞プログラム

特別展ごとに小・中学校、高校の教員を対象に、16:00-20:00までの無料観覧を行なうと同時に、展覧会の趣旨やおもな作品について展覧会担当者が、18:00-18:40まで講堂でレクチャーを行なう。

[ロベール展]

日時：4月6日(金)

講師：陳岡めぐみ(国立西洋美術館主任研究員)

参加者：26名

[ベルリン美術館展]

日時：7月13日(金)

講師：高梨光正(国立西洋美術館主任研究員)

参加者：68名(うちレクチャー参加61名)

[手の痕跡展]

日時：12月7日(金)

講師：大屋美那(国立西洋美術館主任研究員)

参加者：63名(うちギャラリートーク参加11名)

■夏期教員研修

東京都画工作研究会・東京国立近代美術館・東京都現代美術館・国立西洋美術館合同教員研修会

日・場所：6月29日(金) 東京国立近代美術館9:40-11:35 タッチ&トーク

7月12日(木) 世田谷区立花見堂小学校13:40-16:30 授業・協議会



5) ボランティア

ボランティア・スタッフは、ファミリープログラムとスクール・ギャラリートークを中心に活動を行なっている。また、活動に必要な知識や技術を身につけるため、年間を通じて随時研修にも参加している。

■活動内容

- ① スクール・ギャラリートーク（*学校関連プログラムの欄参照）
- ② ファミリープログラム（*ファミリープログラムの欄参照）
- ③ 美術トーク（*常設展関連プログラムの欄参照）
- ④ 建築ツアー（*常設展関連プログラムの欄参照）
- ⑤ 平日大人向けトーク（*常設展関連プログラムの欄参照）
- ⑥ その他（「ファン・デー」「クリスマス・プログラム」）（*常設展関連プログラムの欄参照）

■研修と会合

- ① 7月22日（日） 連絡・調整係打ち合わせ
- ② 8月23日（木） どうようびじゅつ「アートでノリノリ♪」トライアル
- ③ 10月6日（土） 研修：美術館見学（川村記念美術館・ホキ美術館・千葉市民ギャラリー、いなげ）
- ④ 1月26日（土） 研修：東京国立近代美術館ガイドスタッフの研修に参加
- ⑤ 2月14日（木） どうようびじゅつ「アニマル・ウォッチング2013」トライアル
- ⑥ 3月30日（土） 例会

6) インターンシップ

当館では、西洋美術に関心をもつ人材の育成と、当館の活動をより広く理解してもらうことを目的として、大学院生以上を対象としたインターンシップを実施している。当館職員の指導のもと、研修生は所蔵作品の調査、展覧会や教育プログラムの企画補助など、それぞれが希望する専門分野に分かれてさまざまな業務に実際に携わる。

[教育普及室]

インターン：秋本真奈帆、浅見 遙、石黒美英代、岡村万里絵、近藤涼子、高木文絵、平井 慧、山口美帆

期間：5月1日-10月31日

指導：寺島洋子

内容：教育普及プログラムの企画・実施の補助、および資料整理

[絵画・彫刻・版画素描室]

インターン：一柳友子、岡坂桜子

期間：一柳（5月1日-10月31日）、岡坂（5月1日-8月31日）

指導：陳岡めぐみ

内容：当館所蔵作品の来歴・展覧会歴調査、美術史研究、所蔵品カタログ編纂のための資料収集補助

インターン：坂本龍太、早川佳織

期間：7月2日-12月31日

指導：高梨光正

内容：当館所蔵作品の来歴・展覧会歴調査、美術史研究、所蔵品カタログ編纂のための資料収集補助

インターン：金井真悠子、三浦香里

期間：5月1日-10月31日

指導：渡辺晋輔

内容：金井= 当館所蔵作品（版画）の美術史的研究、所蔵品カタログ編纂のための資料収集補助および版画室関連のさまざまな業務補助

三浦= 当館で実施予定の展覧会の準備、カタログ編集業務などの補助

[情報資料室]

インターン：西原久美子

期間：5月11日-7月31日

指導：川口雅子

内容：研究資料センターにおける資料収集・整理および利用者サービスの補助

7) 他組織との連携

■上野高校「奉仕」課外授業への協力

「びじゅつーる貸出補助」

日時：8月9日（木）/10日（金）/11日（土）/12日（日）

参加者：生徒8名、教員1名

「ファン・デー補助」

日時：11月10日（土）/11日（日）

参加者：生徒4名、教員1名

「美術館でクリスマス補助」

日時：12月15日（土）/16日（日）

参加者：生徒4名、教員1名

■東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学専攻の教育・研究における連携・協力

期間：2012年4月1日-2013年3月31日

内容：文化資源学専攻の一層の充実と、当該研究科の学生の資質向上を図り、相互の教育・研究の交流を促進した。

8) 出版物

■展覧会カタログ（*展覧会の欄参照）

■展覧会作品リスト

展覧会の概要と出品作品リストを含む無料配布の作品リスト

[ベルリン美術館展] B4（二つ折り）

[手の痕跡展] A3（二つ折り）

[ラファエロ展] A3（二つ折り）

■ジュニア・パスポート

展覧会の入場券を兼ねた小・中学生を対象とした展覧会ガイド

[ベルリン美術館展] A5（冊子）

[手の痕跡展] A5 (冊子)
[ラファエロ展] A5 (冊子)

■ゼフェュロス

当館の展覧会や教育プログラムなどの活動を広報する季刊(年4回)のニュースレター。

2012年度: Nos.51-54 A5 (8頁)

■その他

ボランティア報告書 2008-2011

(寺島洋子・横山佐紀・藁谷祐子)

スタッフ・リスト

[教育普及室]

寺島洋子、横山佐紀、藁谷祐子、前蘭茂宏、木戸 修 (客員研究員)、平松英子 (客員研究員)

[ボランティア・スタッフ]

赤塚敬子、新井智子、安藤まりえ、石川佐知子、磯田暉子、井上直子、小川 滋、小竿真紀、里 広江、澤野曠一、柴田若菜、白田詠子、鈴木由紀、谷口武教、寺嶋直子、長井靖子、中野恵子、中村宏美、橋本典子、畑中たまき、浜田明美、檜谷錦子、平賀恵美、福良恵子、文屋信男、別所恵代、前田直哉、三好美智子、森保裕恵、山本三津江、横島ミサコ、吉田文子

1) Programs Related to the Permanent Collection

■Art Talks

Art Talks are designed to help adult visitors enjoy our permanent collection. The volunteer staff conducts Art Talks every Sunday and the first, the third and the fifth Saturday when the museum is open, and they focus on five to seven art works on display.

Total participants: 1,249 (71 talks)

■Architectural Tours

This program is designed to help adult visitors enjoy the museum buildings. The volunteer staff conducts Architectural Tours on the second and the fourth Saturday when the museum is open, and they focus on the Main Building and Forecourt Garden, which were designed by the French architect Le Corbusier.

Total participants: 268 (22 tours)

■Weekday Gallery Talks for Adults

Total Participants: 495 (20 tours)

■Christmas Programs

“10-minute Talks-Christmas Edition”

Members of the Volunteer staff presented 10-minute talks on one work in the Permanent Collection Galleries, focusing on works related to Christmas or the life of Christ. (*In Japanese)

Tuesday 11-Sunday 16 December, ① 14:00-14:10 ② 14:20-14:30 ③ 14:40-14:50

Total participants: 326

“Christmas Carols”

From carols sung in churches during the Christmas season to popular songs, this a cappella concert featured a range of festive songs.

Saturday 15 and Sunday 16 December, ① 11:00-11:40 ② 15:00-15:40
Organizer: Eiko Hiramatsu (Associate Professor, Tokyo University of the Arts)

Musicians: Ami Kanaji (sop.), Akiko Endo (alt.), Masanori Taguchi (ten.), and Naohito Sekiguchi (b.)

Total participants: 351

“Let’s make an original NMWA Christmas Collection badge!”

A drop-in event where participants make a Christmas badge decorated with an artwork from the NMWA Collection.

Saturday 15 and Sunday 16 December, 11:00-16:00

Total participants: 878

“NMWA Puzzle: Christmas Edition”

A drop-in event where participants complete NMWA Collection puzzles from beginner to advanced level.

Saturday 15 and Sunday 16 December, 11:00-16:00

Total participants: 50

■Fun Day 2012

The NMWA Fun Days are days when the NMWA is open to visitors free-of-charge with programs to allow visitors to familiarize themselves with our collection.

Saturday 10 and Sunday 11 November 2012

9:30-17:30 each day

[Related to the permanent collection]

“Gallery Talk— One Work from the Collection”

① 10:00-10:10 The Last Judgment

② 10:20-10:30 The Flight of Lot and his Family from Sodom

③ 10:40-10:50 Self Portrait (L’artiste occupée à dessiner)

④ 12:00-12:10 Head of John the Baptist (“Traces of Hands” gallery)

⑤ 14:00-14:10 Orpheus (“Traces of Hands” gallery)

⑥ 14:30-14:40 Poplars in the Sun

⑦ 14:50-15:00 Two Breton Girls by the Sea

Total participants: 379

“Let’s make an original NMWA Collection badge!”

9:30-17:00

Total participants: 2,813

“BijuTool”

9:30-16:00 (lending ends at 15:00)

Total participants: 268

“Architectural Tour of the Main Building”

Approximately 50 minutes, limit of 15 visitors per talk.

① Starts at 11:30

② Starts at 14:30

Total participants: 76

“Concert in the Forecourt”

① 10:30-11:00

② 14:30-15:00

Total participants: 960

[Related to the exhibition “Traces of Hands”]

“Let’s Explore Sculpture Methods”

① 11:00 Marble

② 13:00 Bronze

③ 15:00 Clay

Total participants: 302

“Brochure for a Self-Guided Tour of the Sculpture Exhibition”

Number distributed: 2,000

Total number of visitors (two days): 5,996

2) Programs Related to Special Exhibitions

■Lectures

Related to the exhibition “Hubert Robert”

Saturday 28 April, 14:00-15:30

“Hubert Robert: Between Reminiscences and Caprices”

Megumi Jingaoka (Curator, NMWA)

Total participants: 89

Related to the exhibition “From Renaissance to Rococo”

Saturday 14 July, 14:00–15:30

“The Paradox of Dutch Painting: Focusing on Rembrandt and Vermeer”

Akihiro Ozaki (Professor, Tohoku University Graduate School)

Total participants: 156

Saturday 25 August, 14:00–15:30

“Art in the City: Sacred Paintings and Portrait Expression in Renaissance Italy”

Yasunori Ishizawa (Associate Professor, Yamagata University)

Total participants: 128

Saturday 8 September, 14:00–15:30

“The Fascination of Italian Drawing: Methods and Aims”

Mitsumasa Takanashi (Curator, NMWA)

Total participants: 82

Related to the exhibition “Traces of Hands”

Wednesday 21 November, 13:00–14:00

“Shuji Takashina Talks about How Exhibitions Looked in the Newly Opened National Museum of Western Art”

Shuji Takashina (Director, Ohara Museum of Art)

Total participants: 78

Related to the exhibition “Raffaello”

Saturday 2 March, 14:00–16:00 *with simultaneous interpretation

Christina Acidini (Superintendent, Florence Museums Association)

“Raphael: Arts that Brighten Italian Palaces”

Total participants: 140

Saturday 9 March, 14:00–15:30 *with simultaneous interpretation

Tom Henry (Professor, University of Kent)

“A New Interpretation of Raphael’s ‘Self-Portrait with a Friend’”

(funding provided by The Kajima Foundation for Arts)

Total participants: 128

Other Lectures

Invitation Fellowship Programs for Research in Japan by Japan Society for the Promotion of Science

In cooperation with: Nagasaki Junshin Catholic University

Wednesday 12 September, 14:00–15:30 *with consecutive interpretation

“World Heritage: Mural Paintings of the Catalan Romanesque Churches of the Vall de Boí”

Manuel Castiñeiras (Professor, Universitat Autònoma de Barcelona)

Total participants: 58

■Symposium

International Symposium, “Les jardins du Temps Aesthetics and the Uses of Time” related to the exhibition “Hubert Robert”

Saturday 14 April, 10:00–18:00

* With French and Japanese simultaneous interpretation

Shuji Takashina (Director, Ohara Museum of Art)

Shigetoshi Osano (Professor, Tokyo University)

Guillaume Faroult (Curator, Louvre Museum)

Megumi Jingaoka (Curator, NMWA)

Atsushi Miura (Professor, Tokyo University)

Shigeki Abe (Professor, Chuo University)

Total participants: 85

International Symposium on Scientific Studies of Organic Substances in Polychromed Cultural Heritage

In cooperation with Research Center for West Asian Civilization of the University of Tsukuba

Monday 7 January 2013, 13:00–17:00

Joy Mazrek (Assistant Scientist, Getty Conservation Institute)

Miho Takashima (Assistant Conservation Scientist, NMWA)

Yoshiko Shimazu (Research Fellow, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo)

Takashi Nakazawa (Professor, Nara Women’s University)

Total participants: 70

■Slide Talks & Gallery Talks**Related to the exhibition “Hubert Robert”**

Slide Talks: Megumi Jingaoka (Curator, NMWA)

Friday 20 April, Friday 11 May, 18:00–18:40 each day

Participants: 157

Related to the exhibition “From Renaissance to Rococo”

Slide Talks: Makiko Kawai (Graduate School of Tokyo University of the Arts)

Friday 22 June, Friday 27 July, Friday 10 and Friday 24 August, 18:00–18:40 each day

Participants: 479

Related to the exhibition “Traces of Hands”

Gallery Talks: Mina Oya (Curator, NMWA)

Friday 16 November, Friday 14 December, Friday 11 January 2013, 18:00–18:30 each day

Participants: 102

Related to the exhibition “Raffaello”

Slide Talks: Shizuka Nishikawa (Graduate School of Keio University, assistant for the Traces of Hands exhibitions)

Friday 15 and Friday 29 March 2013, 18:00–18:30

Participants: 251

■Lecture Concert

Explanation of displayed art works intermingled with a musical concert, in relation to the exhibition “From Renaissance to Rococo”

Saturday 18 and Tuesday 21 August, 14:00–15:30 each day

Player: Liliko Maeda (Renaissance flute) and Soffio Armonico

Lecturer: Liliko Maeda, Mitsumasa Takanashi (Curator, NMWA)

Participants: 290

■Program for the Disabled

Special Viewing Session for each exhibition. After a 15-minute general explanation of the works in the exhibition, visitors were allowed to freely enjoy the exhibition.

Related to the exhibition “From Renaissance to Rococo”

Saturday 14 July, 18:00–20:00

With support from Mitsubishi Corporations, Inc. (with 25 Mitsubishi volunteers)

Participants: 236

■Fun with Collection 2012 Finding the Fascination of Sculpture

*Related to the exhibition “Traces of Hands”

[Lecture and Appreciation]

Saturday 17 November, 14:00–16:00

“The Secrets of Rodin’s Creativity”

Toru Fujiwara (Professor, Tohoku University of Art and Design)

Participants: 32

[Creative-Experiential Program]

Sunday 18 November, ① 9:30–12:00 ② 13:30–16:00

“Casting Practicum: Let’s Create Our Own Original Medals!”

Emu Yanagihara (Sculptor)

Participants: 34

Sunday 25 November, ① 9:30–12:00 ② 13:30–16:00

“3-D Copies! My Own ‘Traces of Hands’”

Godai Watanabe (Artist)

Total participants: 29



3) Family Programs

The Family Program is a free program aimed at children ages 6–10 and accompanying adults. Two different programs, “Bijutool” and “Doyo Bijutsu” (Saturday art workshop), were conducted by members of the Education Department staff and Volunteer staff.

■ Bijutool

Bijutool is a portable educational kit for families, first-time visitors, and those unfamiliar with art to enjoy paintings and sculptures at the museum. Each Bijutool contains different tools, games, and activities for different artworks. It encourages children and adults to enjoy artworks together.

Thursday 9, Friday 10, Saturday 11, and Sunday 12 August, 10:30–17:00 each day

Total borrowers: 496

■ Doyo Bijutsu (Saturday art workshop)

This program consists of art appreciation in the Museum Collection Galleries and creative or experimental activities in the workshop room.

“Hands in the Museum”

This program focused on a variety of human hands found in painting and sculptures. First, participants looked at several works that include people and their hands. Then working in pairs made up of a child and his/her grown-up, families made a plaster cast of each other’s hand in the workshop room.

(This program was repeated eight times.)

Saturday 14 and Saturday 28 April, Saturday 12 and Saturday 26 May,

① 10:00–12:00 ② 14:00–16:00 each day

Total participants: 109

“Let’s enjoy art♪”

This program focused on the expression of faces. After looking at art works characterized by their line and color use and facial expressions, participants made collages out of wool, buttons and other materials on the theme of “faces.” (The same program content presented four times.)

Saturday 8 and Saturday 22 September, Saturday 13 and Saturday 27 October, ① 10:00–12:00 ② 14:00–16:00

Total participants: 117

“Animal Watching 2013”

After looking at two art works depicting animals, participants were given hints to search for pictures. After this “painting hunt game,” they made animals out of polystyrene foam and other materials. (The same program content presented four times.)

Saturday 9 and Saturday 23 March, ① 10:00–12:00 ② 14:00–16:00 each day

Total participants: 58



4) School Programs

■ School Gallery Talk

This reservation-only program involved group tours of the Museum Collection Galleries, led primarily by Volunteer staff members.

Participants:

Under age of 6: 30 (3 groups)

Primary School (ages 7 to 12): 1,725 (43 groups)

Junior High School (ages 13 to 15): 1,015 (47 groups)

Over the age of 16: 407 (22 groups)

Total participants: 3,177 (115 groups)

■ School Slide Talk

This by reservation-only program involved Education Department staff members presenting lectures explaining the works on display in the Museum Collection Galleries or special exhibitions. These talks were aimed at large-scale audiences and held in the Lecture Hall.

Participants:

Under age of 6: 27 (1 group)

Primary School (aged 7 to 12): 318 (4 groups)

Junior High School (aged 13 to 15): 559 (6 groups)

Over age of 16: 490 (10 groups)

Total participants: 1,394 (21 groups)

■ Museum Visits for Extracurricular Activity

These group visits involved middle school and high school students in coordination with their Integrated Courses at school. The Education staff members guided these groups, and provided information regarding a curator’s job, art works, and the art museum itself.

Participants:

Junior High School (ages 13 to 15): 58 (5 groups)

Over age of 16: 4 (1 groups)

Total participants: 62 (6 groups)

■ Art Card Set

The Education section loans Art Card Sets to schools for classroom use. Each set includes an instruction booklet and 65 cards with images of art works from the collections of the National Museums of Art.

Borrowers:

Elementary School: 5 (43 sets)

Junior High School: 2 (7 sets)

High School: 1 (4 sets)

College: 1 (3 sets)

Total borrowers: 9 (57 sets)

■ Teachers’ Programs

This program has been designed for elementary, middle school, and high school teachers and other educational staff members. The program includes a brief overview of the exhibition’s contents, discussion of a few works on display from 18:00 to 18:40 and free entry to the exhibition

from 16:00 to 20:00.

All lectures at Lecture Hall, free of charge

Related to the exhibition “Hubert Robert”

Friday 6 April

Megumi Jingaoka (Curator, NMWA)

Participants: 26

Related to the exhibition “From Renaissance to Rococo”

Friday 13 July

Mitsumasa Takanashi (Curator, NMWA)

Participants: 68 (61 with gallery talks)

Related to the exhibition “Traces of Hands”

Friday 7 December

Mina Oya (Curator, NMWA)

Participants: 63 (11 with gallery talks)

■Teachers’ Summer Seminars

Organized with Tozuken, the National Museum of Modern Art, Tokyo and the Museum of Contemporary Art, Tokyo.

Friday 29 June at the the Crafts Gallery of the NMMA, 9:40–11:35, “Touch & Talk”

Thursday 12 July at the Hanamido Elementary School in Setagaya, 13:40-16:30, class and conference

5) Volunteer Activities

The Volunteer staff’s activities have centered on Family Program and School Gallery Talk events. They have also participated in training sessions held throughout the year in order to acquire the knowledge and techniques necessary for their activities.

■Activities

School Gallery Talks

Family Programs

Art Talks

Architectural Tours

Weekday Gallery Talks

Other: “Fun Day” and “Christmas Program”

■Training and Meetings

- ① Sunday 22 July: Volunteer’s meeting of liaison staff
- ② Thursday 23 August: Practice Doyo Bijutsu program “Let’s enjoy art♪♪”
- ③ Saturday 6 October: Study tour to Kawamura Memorial DIC Museum of Art, HOKI MUSEUM and Chiba Citizen’s Gallery Inage
- ④ Saturday 26 January 2013: Take part in a study of volunteer staff at The National Museum of Modern Art, Tokyo
- ⑤ Thursday 14 February 2013: Practice Doyo Bijutsu program “Animal Watching 2013”
- ⑥ Saturday 30 March 2013: Annual meeting

6) Internships

As part of its mission to develop human resources in areas related to Western art and also as a way to further garner and broaden understanding of the museum’s activities, the museum invites the participation of interns at the graduate student level and higher. Under the direction of a staff member, these interns help with surveys of museum art works and assist with the planning of exhibition-related and educational programs, with each intern taking part in hands-on work in their own specific area of specialization.

[Education]

Interns: Manaho Akimoto, Haruka Asami, Fumiyo Ishiguro, Marie Okamura, Ryoko Kondo, Fumie Takagi, Kei Hirai, Miho Yamaguchi

Term: 1 May–31 October

Supervisor: Yoko Terashima

Training Program: Assisted with education programs and assembling resource materials.

[Painting/Sculpture/Drawing]

Intern: Tomoko Ichianagi, Sakurako Okasaka

Term: Ichianagi (1 May–31 October), Okasaka (1 May–31 August)

Supervisor: Megumi Jingaoka

Training Program: Assisted with assembling resource materials related to works in the collection and catalogue compilation.

Intern: Ryuta Sakamoto, Kaori Hayakawa

Term: 2 July–31 December

Supervisor: Mitsumasa Takanashi

Training Program: Assisted with assembling resource materials related to works in the collection and catalogue compilation.

Intern: Mayuko Kanai, Kaori Miura

Term: 1 May–31 October

Supervisor: Shinsuke Watanabe

Training Program: Kanai: Assisted with assembling resource materials related to works in the collection and catalogue compilation.

Miura: Assisted with preparing the exhibition and editing exhibition catalogue.

[Research Library]

Interns: Kumiko Nishihara

Term: 11 May–31 July

Supervisor: Masako Kawaguchi

Training Program: Assisted with assembling resource materials of the museum and library service.

7) Cooperation with Other Institutions

[Tokyo Metropolitan Ueno High School Volunteer]

Thursday 9, Friday 10, Saturday 11 and Sunday 12 August

Helped with Biju-tool program.

Students: 8, Teacher: 1

Saturday 10 and Sunday 11 November

Helped with the FUN DAY program.

Students: 4, Teacher: 1

Saturday 15 and Sunday 16 December

Helped with the Christmas program.

Students: 4, Teacher: 1

[Cooperation with the Graduate School of Humanities and Sociology, Tokyo University]

Term: 1 April 2012–31 March 2013

This program sought to deepen the understanding of Cultural Materials Research specialists in this program and carry out mutual exchange on research and education.

8) Publications

■Exhibition Brochures

“From Renaissance to Rococo”

“Traces of Hands”

“Raffaello”

■ **Junior Passports**

Exhibition guide for primary school and junior high school students:

“From Renaissance to Rococo”

“Traces of Hands”

“Raffaello”

■ **Zephyros**

NMWA Newsletter, Nos. 51-54

■ **Other**

Volunteer Activity Report 2008-2011

(Yoko Terashima, Saki Yokoyama, Yuko Waragai)

[Staff List]

Education Department:

Yoko Terashima, Saki Yokoyama, Yuko Waragai, Shigehiro Maezono,
Osamu Kido and Eiko Hiramatsu (Guest Researchers)

Volunteer Staff:

Takako Akatsuka, Tomoko Arai, Marie Ando, Sachiko Ishikawa,
Kiiko Isoda, Naoko Inoue, Shigeru Ogawa, Maki Ozao, Hiroe Sato,
Koichi Sawano, Wakana Shibata, Eiko Shirota, Yuki Suzuki,
Takenori Taniguchi, Naoko Terashima, Yasuko Nagai, Keiko Nakano,
Hiromi Nakamura, Noriko Hashimoto, Tamaki Hatanaka,
Akemi Hamada, Kaneko Hinotani, Megumi Hiraga, Keiko Fukura,
Nobuo Bunya, Hisayo Bessho, Naoya Maeda, Michiko Miyoshi,
Hiroe Moriyasu, Mitsue Yamamoto, Misako Yokohata, Ayako Yoshida